

目標指標の評価（令和 6 年度）

目標指標		目標指標 の方向性	基準とする数値 （現況値）	実施時期	データ取得の 主体等	実績数値 R6年度（2024年度）	基準値との比較 （実績数値－現況値）	状況	目標値 R10年度（2028年度）
基本方針 1	指標 1 主要公共交通の年間利用者数	➡	18,248,777人/年 R4年度（2022年度）	毎年度	交通事業者	19,645,891人/年	1,397,114人/年	向上	20,581,000人/年
	市内鉄道駅の乗降者数	➡	17,726,590人/年 R4年度（2022年度）	毎年度	交通事業者	19,080,928人/年	1,354,338人/年	向上	19,970,000人/年
	市内を運行する路線バスの利用者数	➡	214,985人/年 R4年度（2022年度）	毎年度	交通事業者 東海市	272,762人/年	57,777人/年	向上	233,000人/年
	循環バス（らんらんバス）の利用者数	➡	307,202人/年 R4年度（2022年度）	毎年度	交通事業者 東海市	292,201人/年	△15,001人/年	低下	378,000人/年
	指標 2 市内・市外への移動が円滑にできる環境が整っていると思う人の割合	➡	68.7% R4年度（2022年度）	毎年度	東海市	70.9%	2.2ポイント	向上	73.4%
	指標 3 循環バス（らんらんバス）利用者 1 人当たりの市負担額	➡	445.6円/人 R4年度（2022年度）	毎年度	東海市	688.9円/人	243.3円/人	悪化	現況値以下
	指標 4 待合環境が整備されたバス停数	➡	10箇所 R5年度（2023年度）	計画期間 最終年度（R10）	東海市				13箇所
基本方針 2	指標 5 新たな交通システムの導入件数	➡	未実施 R5年度（2023年度）	計画期間 中間年度（R8） 最終年度（R10）	東海市				現況値以上
	指標 6 買い物バスの利用者数	➡	5.8人/回 【参考】292人/50回 R4年度（2022年度）	毎年度	東海市	5.8人/回 【参考】722人/124回	0.0人/回	向上	現況値以上
基本方針 3	指標 7 バスの乗り方教室や出前講座の参加人数	➡	303人/年 R4年度（2022年度）	毎年度	東海市	390人/年	87人/年	向上	393人/年
	指標 8 バスロケーションシステムのアクセス数	➡	約324,000件/年 【参考】27,000件/月 R4年度（2022年度）	毎年度	東海市	184,954件/年 【参考】30,826件/月 ※R6.10.1～運用	△139,046件/年 【参考】3,826件/月	向上	408,000件/年 【参考】34,000件/月
	指標 9 駅や主要公共施設等へのデジタルサイネージ導入箇所数	➡	1箇所 R5年度（2023年度）	計画期間 中間年度（R8） 最終年度（R10）	東海市				3箇所
基本方針 4	指標10 循環バス（らんらんバス）の近隣市町への乗り入れ路線数	➡	未実施 R5年度（2023年度）	計画期間 最終年度（R10）	東海市				1路線
	指標11 近隣市町への乗り継ぎが可能なバス停数	➡	15箇所 R5年度（2023年度）	計画期間 最終年度（R10）	東海市				17箇所

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

東海市地域公共交通計画の評価等結果（令和6年4月～令和7年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
主要公共交通の年間利用者数：18,248,777人/年（令和4年度）→20,581,000人/年（令和10年度）	公共交通ネットワークの充実 ・公共交通のサービス向上に向けた交通ネットワークの再構築 ・駅や主要拠点での乗り継ぎ利便性の向上 医療・福祉拠点への移動支援の充実 ・加木屋中ノ池駅を活用した医療・福祉拠点へのアクセス性の向上	交通事業者による年間利用者の集計	・19,645,891人/年（令和6年度） ・循環バスの利用者数は減少しているものの、市内鉄道駅の乗降客数及び路線バスの利用者数の増加が上回っているため、利用者数は増加している。	＜鉄道＞ ・太田川駅を始めとした主要駅での乗降者数の増や令和6年3月に開業した加木屋中ノ池駅の開業等により順調に推移している。 ＜路線バス＞ ・順調に利用者数が増加しており、横須賀線は、令和5年3月1日ダイヤ改正で運行時刻の変更（運行回数は変更なし）を実施したことにより、利便性が向上し、利用者数が増加したと考える。	＜循環バス（らんらんバス）＞ ・令和8年度に一部のルートを改正する予定のため、地域公共交通計画の変更が必要。
市内鉄道駅の乗降者数：17,726,590人/年（令和4年度）→19,970,000人/年（令和10年度）			・19,080,928人/年（令和6年度） ・全体的に増加傾向にあり、特に名鉄太田川駅の乗降者数が680,671人増加している。 ・令和6年3月に開業した加木屋中ノ池駅の乗降者数（335,516人）が追加された。		
市内を運行する路線バスの利用者数：214,985人/年（令和4年度）→233,000人/年（令和10年度）			・272,762人/年（令和6年度） ・上野台線、横須賀線ともに増加傾向である。		
循環バス（らんらんバス）の利用者数：307,202人/年（令和4年度）→378,000人/年（令和10年度）			・292,201人/年（令和6年度） ・令和6年10月に実施したダイヤ・ルート改正後に利用者数が減少している。 ・ダイヤ改正後は乗降客数が一時的に減少し、徐々に回復する傾向で、利用者数は徐々に回復しているものの、ダイヤ改正前の水準までは回復していない。	＜循環バス（らんらんバス）＞ ・ダイヤ・ルート再編後に利用者数が減少しているものの、徐々に利用者数が回復すると見込んでいる。 ・引き続き、再編後の路線・ダイヤによる運行を継続。 ・各公共交通機関の乗継が図られるように市ホームページにおいて、乗継検索サイトへの案内を掲載。 ・We bチケットの導入により利用者の利便性を向上。 ・令和8年度に完成予定の加木屋中ノ池駅の南口駅前広場において、バス停の設置に向けたダイヤ・ルート改正の検討を次年度に実施予定。	
市内・市外への移動が円滑にできる環境が整っていると思う人の割合：68.7%（令和4年度）→73.4%（令和10年度）		市民アンケート調査により計測	・70.9%（令和6年度） ・鉄道駅周辺の満足度が高い。 ・49歳以下の満足度が高く、50歳以上の満足度が低い。		
循環バス（らんらんバス）利用者1人当たりの市負担額：445.6円/人（令和4年度）→現況値以下（令和10年度）		（運行経費－運賃収入）/年間利用者数により算出	・688.9円/人（令和6年度） ・令和6年10月1日のダイヤ・ルート再編により、車両数の2台増及び運転乗務員の処遇改善に伴う人件費増等から運行経費が増えたこと及び利用者数が減少したことにより1人当たりの運行経費が増加している。		

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
待合環境が整備されたバス 停数：10箇所（令和5年度） →13箇所（令和10年度）	待合環境等の整備 ・上屋、ベンチ等の整備により、快適にできる環境の促進 駅前広場等の整備 ・加木屋中ノ池駅、南加木屋駅、尾張横須賀駅等の駅前広場整備によるアクセス性の向上	シエルター（上屋）やベンチ等が設置されたバス停数	—	—	最終年度（令和10年度）に評価を実施
新たな交通システムの導入 件数：未実施（令和5年度） →現況値以上（令和10年度）	移動需要に応じた交通サービスの利用促進 ・運転免許証自主返納者へのタクシー利用助成 新たな交通システムの導入 ・A I オンデマンド交通の実証実験等 パーソナルモビリティ等の調査・研究 ・自転車や電動キックボード等のシェアリングサービスに関する調査・研究	実証実験等を含む新たな交通システムの運行数	—	—	中間年度（令和8年）、最終年度（令和10年度）に評価を実施
買い物バスの利用者数：5.8人/回（令和4年度）→現況値以上（令和10年度）	輸送資源を活用した生活支援 ・買い物バス等の利用促進 ・宅配・移動販売等の活用	福祉団体等が実施する買い物バスの年間の利用者数を、運行回数で除して算出	・5.8人/回（令和6年度） ・1回当たりの利用者数は維持されて、利用者数は増加している。	・利用者数及び運行回数は順調に伸びている。（292人/50回（令和4年度）→722人/124回（令和6年度） ・次年度も引き続き、維持・向上に努める。	
バスの乗り方教室や出前講座の参加人数：303人/年（令和4年度）→393人/年（令和10年度）	公共交通教育及び利用促進活動の推進 ・バスの乗り方教室やバスロケーションシステムの使い方講座を実施	バスの乗り方教室及び出前講座の参加人数の集計	・390人 ・バスロケーションシステムの使い方講座回数を増加（48回→60回）したことにより参加者人数が増加している。	・出前講座の参加人数が順調に伸びている。 ・次年度は、バスの乗り方教室の実施校を2校から6校に拡充し、実施予定。	
バスロケーションシステムのアクセス数：約324,000件/年（令和4年度）→408,000件/年（令和10年度）	バスロケーションシステムの充実 ・近隣市町のコミュニティバス等にも対応したバスロケーションシステムへの更新	バスロケーションシステムへの年間アクセス数の集計	・184,954件/6月（令和6年度） ・10月から実施のため、参考数値ではあるが、1月当たりは30,826件であるため、基準値の1月当たり27,000件より増加しており順調。	・以前よりも使いやすくなったことや市の公式LINEからのリンクにより順調にアクセス数が伸びている。 ・次年度は、市広報紙でバスロケーションシステムへのアクセスを紹介する予定。	

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
駅や主要公共施設等へのデジタルサイネージ導入箇所数：1箇所（令和5年度）→3箇所（令和10年度）	公共交通のわかりやすい情報提供の在り方についての調査・検討 ・新たなバスマップや時刻表の作成 ・主要施設等へのデジタルサイネージの設置検討 ・バス車内広告のデジタル化	デジタルサイネージが設置された主要公共施設等の数	—	—	中間年度（令和8年）、最終年度（令和10年度）に評価を実施
循環バス（らんらんバス）の近隣市町への乗り入れ路線数：未実施（令和5年度）→1路線（令和10年度）	近隣市町コミュニティバスとの共通バス停の整備 ・近隣市町のコミュニティバスと乗り継ぎ可能なバス停の増設 利便性の高い地域公共交通の実現	近隣市に乗り入れた路線の数	—	—	最終年度（令和10年度）に評価を実施
近隣市町への乗り継ぎが可能なバス停数：15箇所（令和5年度）→17箇所（令和10年度）	・循環バスと近隣市町のコミュニティバスとの乗り継ぎ時における運賃体系の在り方を調査・検討	近隣市町への乗り継ぎが可能なバス停数	—	—	最終年度（令和10年度）に評価を実施

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「—」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

令和 6 年度実施報告及び令和 7 年度実施予定

事業内容	実施主体	事業 期間	実施スケジュール					実施状況	実施予定			
			R6	R7	R8	R9	R10	R6	R7			
公共交通ネットワークの充実	東海市 交通事業者	中期間	→ ●●●●●●●●●●					【検討・協議】【実施】 令和6年10月1日ダイヤ・ルート改正	【検討・協議】 加木屋中ノ池駅バス停の新設に向けた検討			
医療・福祉拠点への移動支援の充実	東海市 交通事業者	中期間	→ ●●●●●●●●●● 道路整備等他事業と併せて実施					【検討・協議】【実施】 令和6年10月1日ダイヤ・ルート改正	【検討・協議】 加木屋中ノ池駅バス停の新設に向けた検討			
待合環境等の整備	東海市 交通事業者	長期間	→ 民間事業者とも協議を行い実施を検討						【実施】 消防署北出張所に上屋・ベンチ設置 6箇所のバス停にベンチ設置			
駅前広場等の整備	東海市 交通事業者	長期間	→ 道路整備等他事業と併せて実施					【実施】 加木屋中ノ池駅周辺整備 （北口駅前広場整備）	【実施】 加木屋中ノ池駅周辺整備 （南改札口開業、南口駅前広場整備）			
移動需要に応じた交通サービスの利用 促進	東海市 交通事業者	長期間	●●●●●●●●●●					【継続】 運転免許証自主返納者等にタクシー利用助成	【継続】 運転免許証自主返納者等にタクシー利用助成			
輸送資源を活用した生活支援	社会福祉団体 小売事業者 物流事業者	長期間	●●●●●●●●●●					【継続】 買い物支援バスの実施（社会福祉団体）	【継続】 買い物支援バスの実施（社会福祉団体）			
新たな交通システム導入の検討	東海市 交通事業者 情報通信事業者	中期間	→ ●●●●●●●●●● ※デマンド交通実証実験及び検証 需要分析に応じて、継続的な実施判断					【検討・協議】 令和6年10月1日からデマンド交通（チョイソ コとうかい）の実証実験及び検証	【検討・協議】 デマンド交通（チョイソコとうかい）の実証 実験及び検証			
パーソナルモビリティ等の調査・研究	東海市 モビリティサービス 事業者	長期間	→ 先進事例等の調査・研究					【検討・協議】 先進事例の情報収集 現地視察（蒲郡市）、We bセミナー受講等	【検討・協議】 先進事例の情報収集 We bセミナー受講等			
公共交通教育及び利用促進活動の推進	東海市	長期間	●●●●●●●●●●					【継続】 バス乗り方教室（2校） 高齢者スマートフォン活用支援講習会（60回）	【継続】 バス乗り方教室（6校） 高齢者スマートフォン活用支援講習会（70回） 循環バス（らんらんバス）にWe bチケット導入 のりものカード（らんらんバス）の作成			
バスロケーションシステムの充実	東海市 近隣市町 交通事業者 情報通信事業者	短期間	→	→ ●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●			【検討・協議】【実施】 令和6年10月1日から新たなバスロケーション システムの導入	【継続】 バスロケーションシステムの運用			
公共交通のわかりやすい情報提供の在 り方についての調査・検討	東海市 交通事業者	短期間	→	→ ●●●●●●●●●●				【実施】 令和6年10月1日からガイドブック及びポケット 版時刻表の配布、ホームページにQ & A 及び経 路検索サイト情報を掲載	【実施】 英語版ガイドブックのデータを作成し、ホーム ページに掲載			
近隣市町コミュニティバスとの共通バ ス停の整備	東海市 近隣市町	短期間	→ ●●●●●●●●●●	→ ●●●●●●●●●● 需要分析に応じて、拡充検討				【継続】 知多市、大府市と共通バス停の設置	【継続】 知多市、大府市と共通バス停の設置			
利便性の高い地域公共交通の実現	東海市 近隣市町	長期間	→ 運用事例等の調査・研究					【検討・協議】 知多市、大府市と情報交換	【検討・協議】 知多市、大府市と情報交換			

短期間 1～3年程度 中期間 4～5年程度 長期間 4～5年程度

→ 検討・協議 → 実施・整備 ●●●●● 継続的に実施

令和6年度（2024年度）実施事業の状況

基本方針 1

公共交通機関が調和した使いやすい交通体系の確保・維持

施策：公共交通ネットワークの充実

・実施事業

公共交通ネットワークサービス向上に向けた交通ネットワークの再構築

・事業内容

公共交通機関の乗り継ぎや、各拠点及び主要施設の利用時間帯に合った行き帰りの利便性が確保された公共交通ネットワークの構築を図るため、市内循環バスのダイヤ・ルート再編を実施する。

・実施スケジュール等

令和6年4月 1日 市内循環バスのダイヤ・ルート再編案のパブリックコメント実施
 ～30日
 6月27日 ダイヤ・ルート再編案の決定
 10月1日 新ダイヤ・ルート運行開始
 （EVバスの導入及び充電設備（東海市役所、知多乗合株式会社 東海営業所）の設置）



令和6年（2024年）10月1日（名和駅前にて）

（東海市役所）

施策：駅前広場等の整備

・実施事業

加木屋中ノ池駅の駅前広場整備によるアクセス性の向上

・事業内容

令和6年3月に開業した加木屋中ノ池駅に循環バスやタクシー等の利用や自家用車での送迎が円滑で快適にできる駅前広場を南北2箇所に整備する。

・実施スケジュール等

令和5～6年度 北口駅前広場整備工事

令和6～7年度 南口駅前広場修正設計



※加木屋中ノ池駅周辺イメージパース



(加木屋中ノ池駅 北口駅前広場)

基本方針2

地域特性に応じた移動ニーズを満たす公共交通サービスの提供

施策：移動需要に応じた交通サービスの利用促進

- ・実施事業

運転免許証自主返納者へのタクシー利用助成

- ・事業内容

運転免許証を有効期限内に自主返納した市民に対して、75歳未満の方には、無料で循環バスに乗車することができる特別乗車証を支給し、75歳以上の方には、タクシーチケット（2,000円分：400円券×5枚綴のもの）を支給する。

- ・実施スケジュール等

令和6年度

利用実績枚数 420枚

運転免許証自主返納人数 248人

施策：新たな交通システム導入の検討

・実施事業

A I オンデマンド交通の実証実験等

・事業内容

乗合型の公共交通サービスである(株)アイシンが提供する「チョイソコ」の実証実験を「東海市北部エリア（国道302号以北の名和町、南柴田町、浅山の一部）」で実施。

・実施スケジュール等

令和6年7月31日	停留所の決定	
8月 6日	道路運送法第21条による申請	
8月～9月	地域説明会及び会員登録会を開催	12回 143人
10月1日	出発式、実証実験運行開始	
令和7年1月	地域説明会及び会員登録会を開催	4回 52人
	新春緑陽ひろばに出展	
	下名和公民館まつりに出展	
2月	上名和公民館まつりに出展	
3月	会員向けアンケート実施	
	会員以外向け（65歳以上）アンケート実施	



令和6年（2024年）10月1日（名和駅前にて）

基本方針3

地域全体で支える公共交通づくり

施策：公共交通教育及び利用促進活動の推進

・実施事業

地域、学校、職場を対象にしたモビリティ・マネジメントの実施

・事業内容

マイカー社会の進展に伴い、バスの乗車経験がなく、乗り降りの仕方を知らない児童が増えている。そこで、公共交通であるバスに親しみ、バスへの理解と関心を高めるとともに、将来的な利用者につなげるため、小学生を対象としたバスの乗り方教室を昨年度に引き続き実施する。

・実施時期等

令和6年（2024年）11月27日（水）

午前 三ツ池小学校 1年生 48人

午後 渡内小学校 4年生 78人



（渡内小学校）

施策：バスロケーションシステムの充実

・実施事業

近隣市町のコミュニティバス等にも対応したバスロケーションシステムへの更新

・事業内容

令和6年10月に予定している市内循環バスのダイヤ・ルート再編に合わせて、バスロケーションシステム（英語対応）を更新する。

公立西知多総合病院に設置したデジタルサイネージを更新する。

・実施スケジュール等

令和6年10月1日 バスロケーションシステム更新



バスロケーションシステム「バス予報」

バスの現在位置情報や遅延情報をスマートフォンでお知らせ！

スマートフォンでQRコードを読み取って「バス予報」を活用してください。

バスは今どこを走ってるの？
いつ到着するの？
近いバス停はどこ？

バス経路検索サイト

出発地と目的地を入力してルート検索！

NAVITIME ジョルダン 駅すばあと

市公式LINE

友達追加で簡単にバスロケーションシステムにアクセスできます。

市公式 LINE

ご利用案内

運賃 1乗車 100円（おつりのないよう100円をご用意ください）
現金、交通系ICカード決済のみ（2次元バーコード決済不可）

一日乗車券 1枚 200円 / 日
販売場所：らんらんバス車内

回数券 1冊 1,000円（100円券×12枚綴り）
販売場所：知多乗合株式会社 東海営業所（加木屋車庫）
らんらんバス車内

定期券 2,000円 / 月
知多乗合株式会社 東海営業所（加木屋車庫）
東海市観光物産プラザ

〇お忘れ物などの問い合わせ先 知多乗合株式会社 東海営業所
Tel.0562-32-1802

〇その他らんらんバスに関すること 東海市役所 都市計画課
Tel.052-603-2211
Tel.0562-33-1111

東海市ホームページ

お盆、年末年始の運行について（年始以外は毎日運行）
お盆期間（8月13日～15日）、年末（12月29日～31日）は休日ダイヤにて運行。
お正月期間（1月1日～1月3日）は運休となります。

（バス停に掲示）

令和6年10月1日 デジタルサイネージ更新



(公立西知多総合病院)

・実施事業

新たなバスマップや時刻表の作成

・事業内容

令和6年10月に予定している市内循環バスのダイヤ・ルート再編に合わせて、誰もがわかりやすく、簡単に情報を入手することを可能とするため、見やすさを考慮した新たなバスマップや時刻表を作成する。

・実施スケジュール等

令和6年9月 新たなバスマップや時刻表を作成

冊子版：9月1日号広報紙に折込みで配布

公共施設（51箇所）、加木屋車庫で配布



ポケット版：公共施設（51箇所）、バス車内、加木屋車庫で配布

